

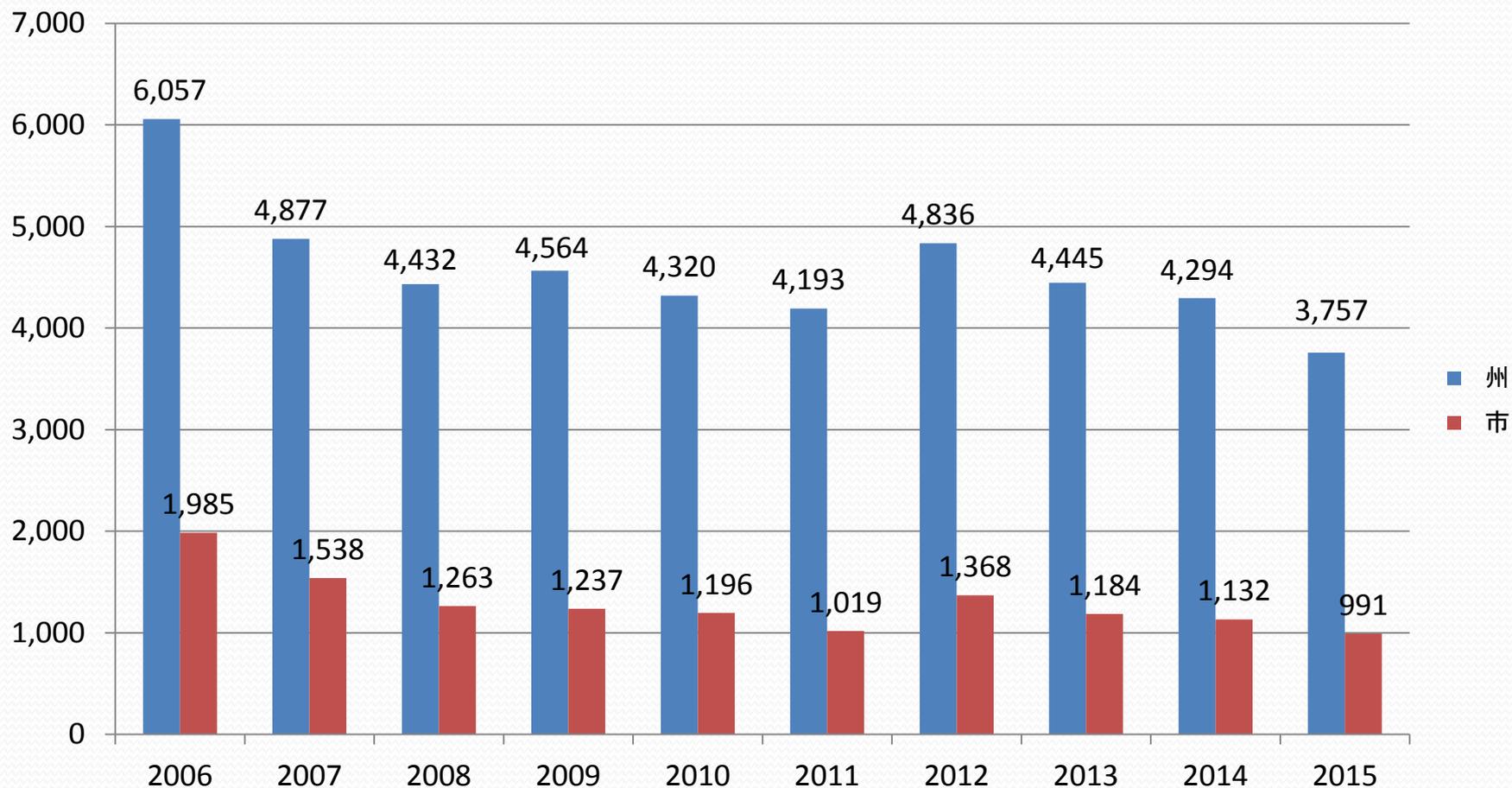
サンパウロの治安情勢と安全対策について

在サンパウロ日本国総領事館

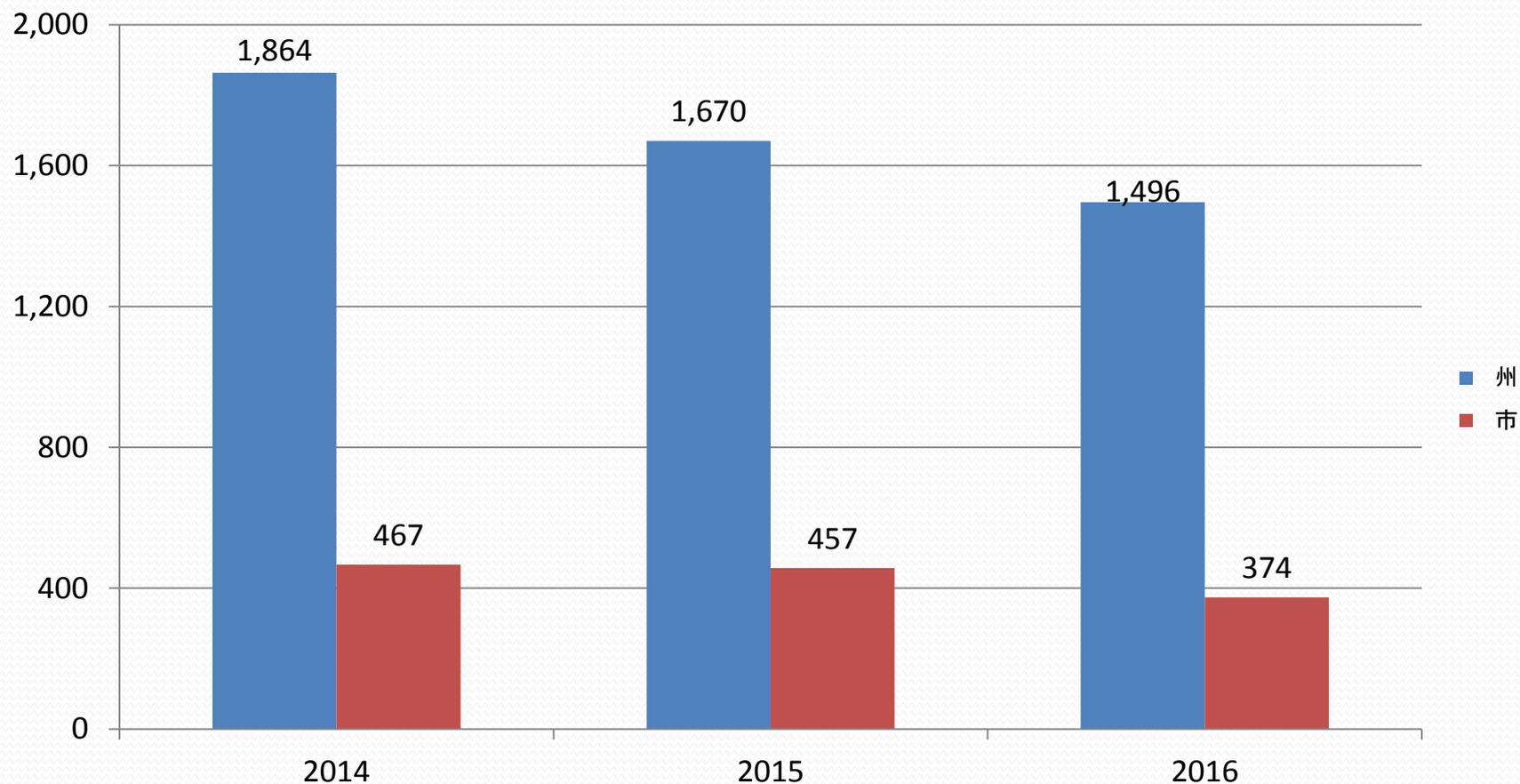
サンパウロ州(市)の治安情勢

- ※ サンパウロ州保安局犯罪統計では、「強盗」「車両強盗」と強奪された被害品(車両であるか否か)によって統計を区分しているが、同一の犯行形態(強盗行為)であるため、統計資料に基づき2つの区分を合計した数値を使用している。
- ※ 犯罪発生率については、関係各機関が公表した数値に基づいて計算したものである。

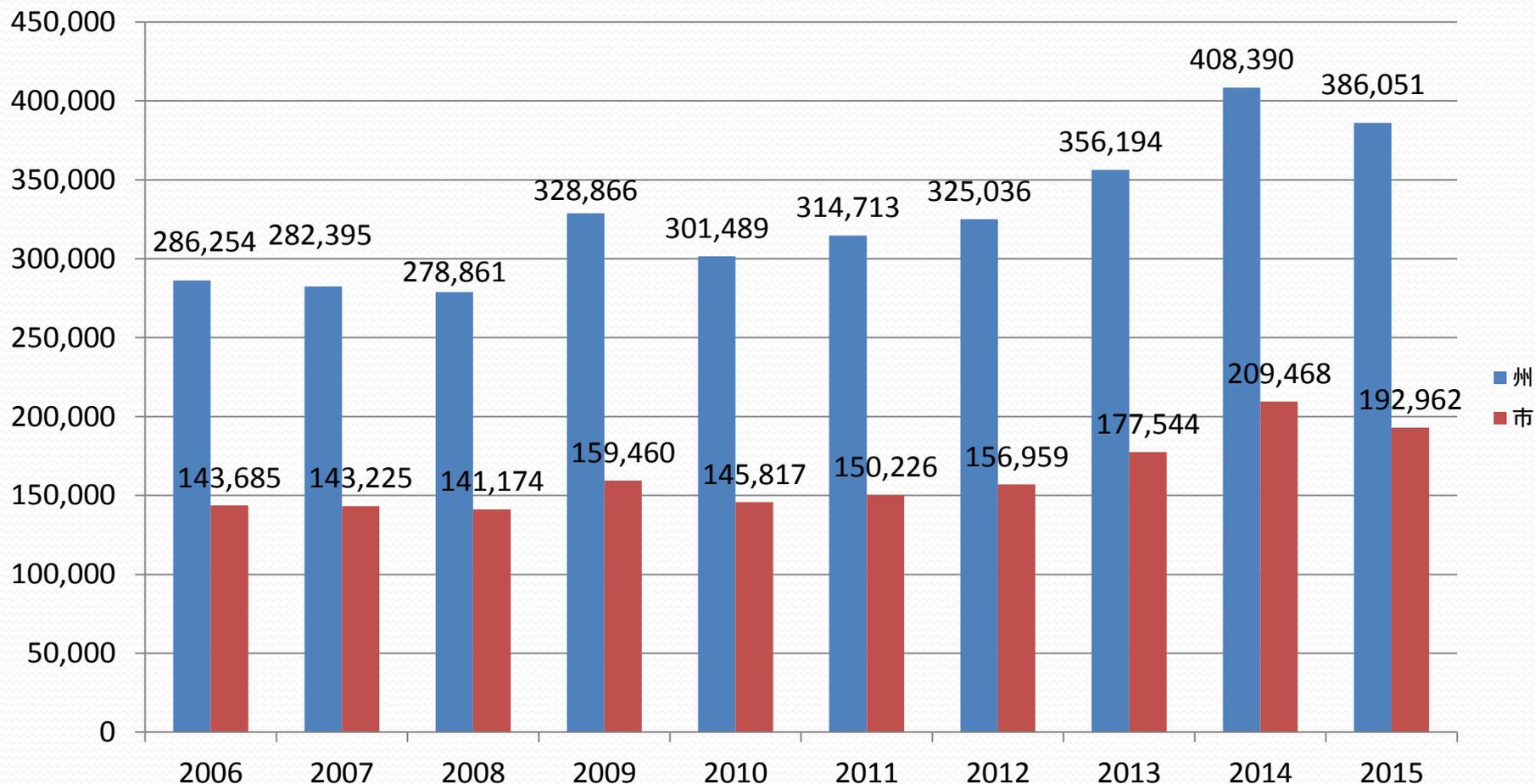
殺人事件発生件数の推移



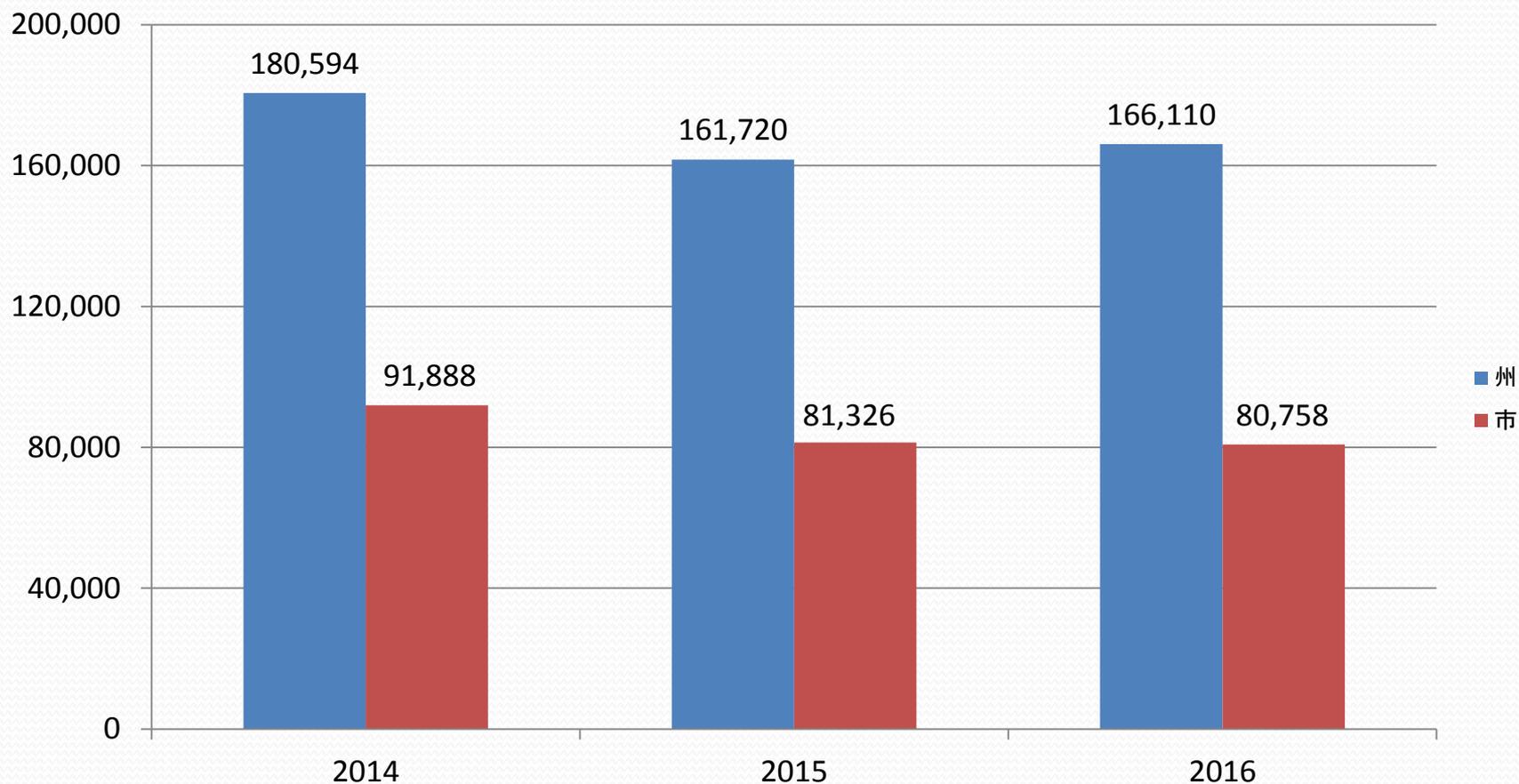
殺人事件発生件数の推移(1～5月)



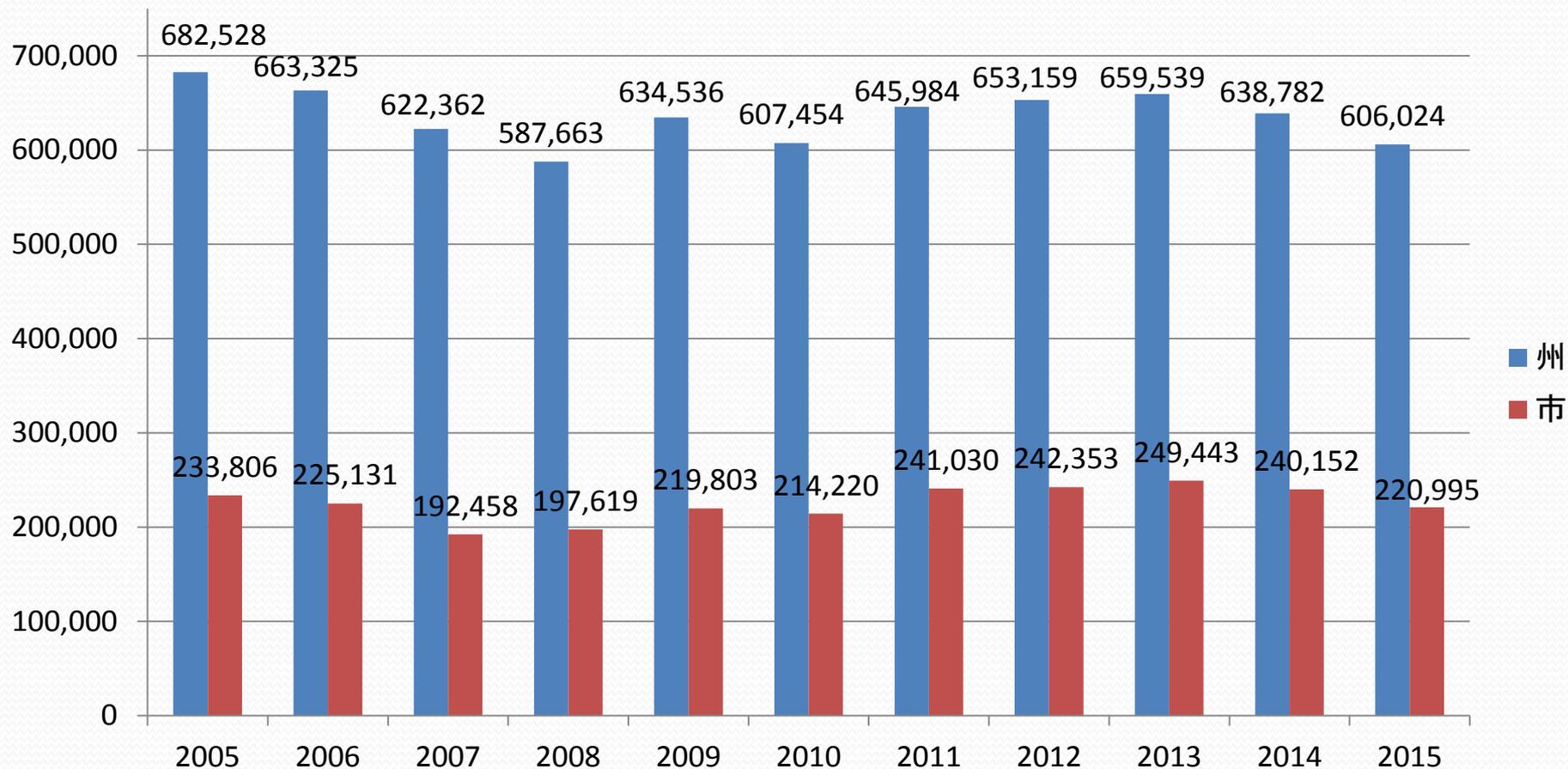
強盗事件発生件数の推移



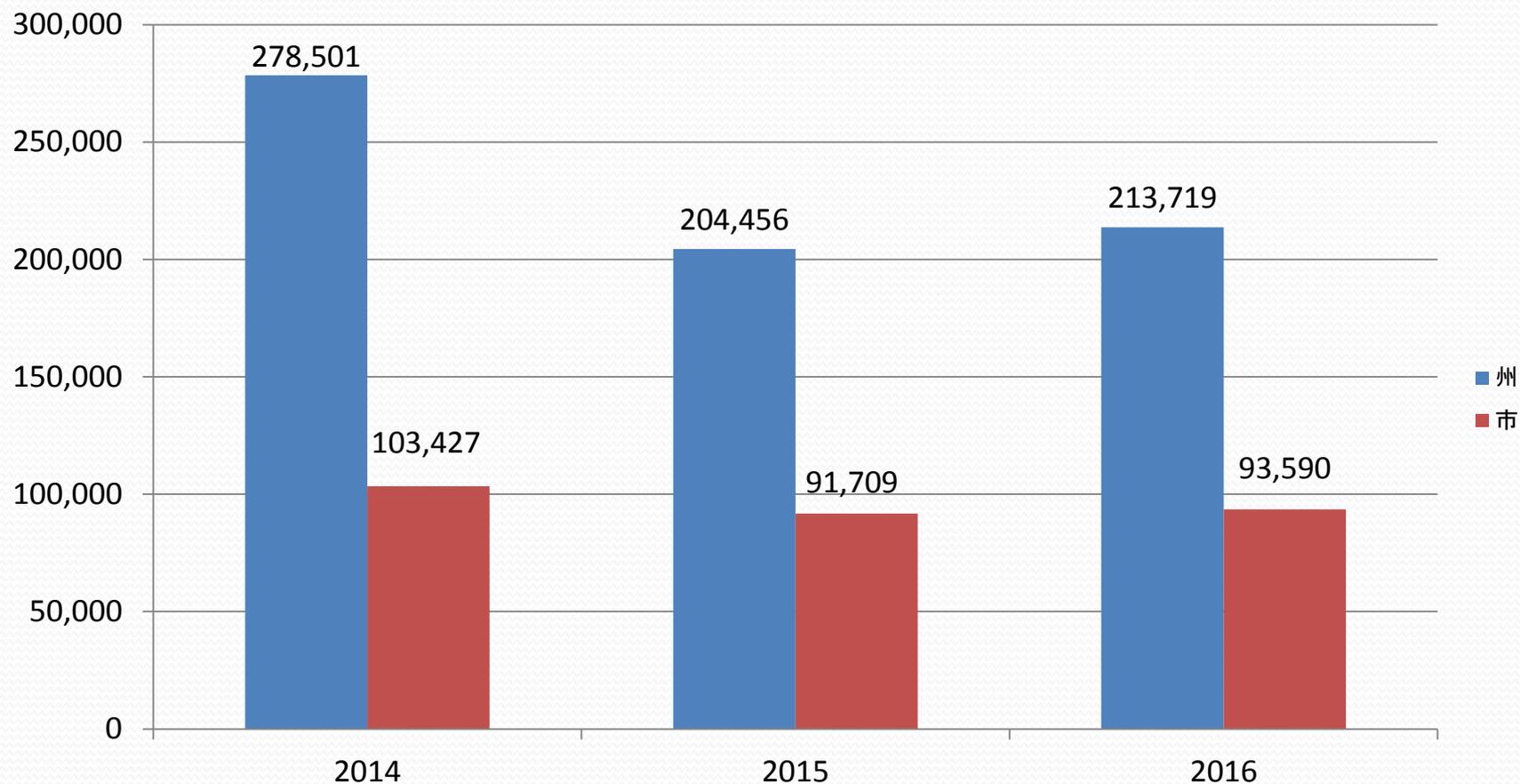
強盗事件発生件数の推移(1~5月)



窃盗事件発生件数の推移



窃盗事件発生件数の推移(1~5月)



日本との比較(発生件数・2015年)

	サンパウロ州 (4440万人)	日 本 (12689万人)
殺 人	3, 757	933
強 盗	386, 051	2, 426
窃 盗	606, 024	807, 560

	サンパウロ市 (1158万人)	東 京 (1349万人)
殺 人	991	102
強 盗	192, 962	399
窃 盗	220, 995	108, 198

日本との比較

(人口10万人当たりの発生件数・2015年)

	サンパウロ州	日 本
殺 人	8.46	0.74
強 盗	869.48	1.91
窃 盗	1364.92	636.43

	サンパウロ市	東 京
殺 人	8.56	0.76
強 盗	1666.08	2.96
窃 盗	1908.12	802.06

日本(東京)の何倍?

発生倍率

11.43

455.23

2.14

発生倍率

11.26

562.86

2.38



邦人被害の現状・犯罪傾向

邦人被害の現状(2015年)

邦人に係る被害が24件発生 (※ 領事館メールサービス配信ベース)

☞ 強盗殺人: 1件(拳銃使用)

☞ 強盗: 16件(うち未遂が2件)

侵入強盗: 6件, 車両乗車(乗降)中: 6件, 路上: 4件

☞ 窃盗: 7件(うち未遂が1件)

車両停車中: 5件, 路上: 1件, 空港内: 1件

犯罪傾向(邦人被害)

- 車両乗車(乗降)中における強盗・短時間誘拐
- 観光地を中心とした強・窃盗(スリ)
- ホテルロビーや空港での置引き
- スマートフォン, 腕時計の被害

防犯に対する心構え・対策

防犯に対する心構え

- 自分の身は自分で守る
- 情報の入手
- ターゲットにならない競争を意識
- 被害遭遇時を想定したトレーニング

防犯対策

- 警戒心の維持と堅持（顕示）
- ラフな服装と最小限の所持品・貴重品の分散所持
- 車両内でも細心の注意
- 行動のパターン化を避ける
- 保秘



犯罪被害に遭遇した際の対処

犯罪被害に遭遇した際の対処

- 相手(犯人)の指示に従う
- 逃走・抵抗又はそれと誤解される素早い動きの厳禁
- 相手の顔を見ない



被害届の重要性

被害届の重要性

- 警察は被害届を基に状況を把握
- 被害現場に助けを求める
 - ☞ Policia Militar(軍警察)
電話番号: 190
- 被害届を受理・捜査
 - ☞ Polocia Civil(文民警察)

インターネットによる被害届の提出

- サンパウロ州保安局のサイト
(<http://www.ssp.sp.gov.br/>)
- サンパウロ州文民警察のサイト
(<https://www.policiacivil.sp.gov.br/>)

被害届の提出と併せて



総領事館への連絡をお願いします！

- 被害状況を共有することで注意喚起となり，危機意識を醸成
- 個人の特定に繋がる情報は掲載しません
- 御家族も同様をお願いします



テロの特徴と対処

テロの特徴

- 場所：人通りが多い・多数が集まる
- 時間：朝夕のラッシュ時，イベント開催
時間帯，週末の夜，休日の日中

爆弾テロの特徴

- 多数の人が集まる場所に爆弾を仕掛けたり、自爆という手段も多く見られる
- 1回目の爆発で人が集まったところで2回目の爆発を行うことがある
- 爆風に伴う体内気圧の変化による肺・鼓膜の損傷
- ガラスの飛散による負傷
- 避難者の将棋倒しによる圧死

銃乱射事件の特徴

- 殺傷力の高い自動小銃を使用
- 弾薬が尽きるまで乱射し、執拗に生存者を探す
- 犯人が出入口付近で避難者を待ち受ける可能性
- 犯人が立てこもることもあり、負傷者等の救出に時間を要する場合もある

テロ被害を避けるための事前対策

基本

- 危ない場所・時間帯を避ける
- 用心を怠らない
- 在留届の提出, 「メールマガジン」及び「たびレジ」の登録

テロ被害を避けるための事前対策

☞ 選定・確認・習慣

(選定)

- 十分な安全対策をとっている施設・ホテルを滞在先に選定
- 現地の治安情勢に応じて交通手段を選定

(確認)

- 宿泊先やレストラン利用時に非常口や退避ルートを確認

(習慣)

- 人混みを避ける, 防御壁になるものを見つける習慣

(共通)

- 家族や会社との間で緊急時の集合場所を決めておく

テロ被害を避けるための事前対策

服装等

- 目立つ服装, 目立つ車, 目立つ行動を避ける
- イヤホン等で音楽を聞くなどして外部の音を遮断しない
- 避難できる服装を着用

テロ被害を避けるための事前対策

☞ 立ち寄らない, 通行しない, 滞在は短く

- 宗教関連施設, 軍・警察施設, 外国関連施設にはなるべく近づかない
- ガラスを多く使用した建物にはなるべく近づかない
- 大きな荷物, 不自然な厚着, 不審者, 不審物には近づかない
- 人が多く集まる場所にいる時間をできるだけ短くする

テロに遭遇した場合の対処方法

- 爆発音・銃撃音が聞こえたら直ちに伏せる
- 頑丈な物陰に隠れる
- できるだけ速やかに現場から離れ近寄らない
- 避難する時間がない、襲撃対象となりうる場合は隠れる
- 群衆パニックに巻き込まれない
- 現場から逃げることができれば、体に異常がないか確認

テロに遭遇した場合の対処方法

爆発テロ事件の場合

- カバン等で頭部を保護，姿勢を低くして爆発時点から離脱
- 爆発に遭遇した瞬間は，肺の損傷を防ぐため「少し口を開け」，首と鼓膜の損傷を避けるため「首の後ろを手の平で覆い，耳をふさぎ」，目を守るため「目を閉じる」
- 複数の爆発物が仕掛けられている可能性に注意

テロに遭遇した場合の対処方法

銃撃事件の場合

- 低い姿勢で、ジグザグに逃げる
- 安全に逃げるため、周りの動きをよく見る
- 不用意に動くと狙い撃ちされる
- 防御物となる硬い物体を探す

テロに遭遇した場合の対処方法

☞ 現場から離れたら

- 事件発生を警察に通報
- 大使館／総領事館に連絡
- 関係者に安否報告
- スマートフォン, テレビ, ラジオ等で情報収集

警察官が到着したら

- 心を落ち着けて警察官の指示に完全に従う
- 常に両手を見せ、動かない
- 犯人の情報、被害者の情報を伝える。ただし、知らないことを見込みや予想で話さない
- 銃撃戦になったら地面に伏せ、動かない

まとめ

- 誰しも被害者になる可能性
- 事件の発生は予測不能, たちまち展開
- 体制の整備, 訓練
- 周囲の状況変化に留意し, 常に避難経路を意識

サンパウロにおける

安全の手引き

2016年5月
在サンパウロ日本国総領事館